

作成日: 2010年1月19日

改訂日: 2017年10月2日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アルハーブフロアブル
製品コード	BHEB
会社名	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都中央区東日本橋一丁目1番5号
担当部門	管理部環境安全・品質保証グループ
電話番号	(03) 5825-5518
FAX 番号	(03) 5825-5504
緊急連絡先	(03) 5825-5518
奨励用途及び使用上の制限	農薬 (除草剤, 登録以外の使用は不可)
整理番号	1517-01

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理化学的危険性)

爆発物	分類できない
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない

(健康に対する有害性)

急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入: 気体)	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類対象外
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外

呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 (急性)	区分1
水生環境有害性 (長期間)	区分1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き	必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
安全対策	漏出物を回収すること。
応急措置	内容物、容器を法令、条例に従って廃棄すること。
廃棄	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名	①2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-テニル)-2',6'-ジメチルアセト アニリド (IUPAC)
一般名	①テニルクロール (ISO)
化学特性 (化学式等)	①C ₁₆ H ₁₈ ClNO ₂ S (分子量 323.84)
CAS 番号	①96491-05-3
濃度 (含有率)	①テニルクロール 4.0 % ②水、界面活性剤等 96.0 %
官報公示整理番号	①8-(6)-147 (安衛法)

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合	<p>眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診断、手当てを受けること。</p>
5. 火災時の措置	
消火剤	水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤など
特定危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。
消火を行う者の保護	適切な保護具を着用する。
消火時の注意	消火水が下水や河川、湖沼等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置	処理作業には適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	河川・湖沼等の水系に入らないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	直ちに、オガクズ、土砂等の吸収材に吸収させ、密閉できる空容器に回収する。汚染した箇所を水、洗剤で洗い流し、汚水は排水処理を行う。
7. 取扱い及び管理上の注意	
取扱い	
安全取扱い注意事項	必要なとき以外は環境への放出を避けること。
接触回避	吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用するとともに、できるだけ風上から作業する。
衛生対策	作業後はすみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
保管	
安全な保管条件	適当な換気のある冷暗所に密封して保管する。
安全な容器包装材料	詳細は製品のラベルに従うこと。
8. 暴露防止措置	
設備対策	換気を適正に行う。
許容濃度	日本産業衛生学会で未設定
保護具	
呼吸器用保護具	保護マスク
手の保護具	ゴム手袋
眼の保護具	側板付き普通眼鏡型
皮膚及び身体の保護具	適切な作業衣、安全靴
9. 物理的及び化学的性質	
外観	類白色水和性粘稠懸濁液体
臭い	データなし
pH	7.18 (20.0 g/80 mL水溶液)
引火点	データなし
比重	1.04 (25℃)

溶解度 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 通常の取扱いでは安定
 化学的安定性 通常の取扱いでは安定
 危険有害な分解生成物 燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD50	>2,000 mg/kg (雌ラット) (区分外)
	経皮 LD50	>2,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分外)
	吸入 LC50	データなし (分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		刺激性なし (ウサギ) (区分外)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		刺激性あり (ウサギ) (GHS分類基準以下であり区分外)
呼吸器感作性		データなし (分類できない)
皮膚感作性		陰性 (モルモット) (区分外)
生殖細胞変異原性		データ不足 (分類できない)
発がん性		データ不足 (分類できない)
生殖毒性		データ不足 (分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		データ不足 (分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		データ不足 (分類できない)
吸引性呼吸器有害性		データなし (分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性	コイ	96時間 LC50	42.4 mg/L
その他	ミジンコ	48時間 EC50	242 mg/L
	藻類	72時間 ErC50	0.34 mg/L
		NOECr	0.03 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性(急性)及び水生環境有害性(長期間)を区分1とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
 空容器、空袋、汚染容器等の処理は、内容物を完全に除去し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(施行令第6条)等の関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
 これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 (UN No.)	3082
品名 (国連輸送名)	環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの
国連分類	クラス 9
容器等級	III

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

容器が破損しないように、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。

応急措置指針番号

171

15. 適用法令

農薬取締法

登録番号 第19784号

16. その他

記載内容の取扱い

- ・記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- ・記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- ・新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の手取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。